

監査委員の調査報告を待つ

12月定例会

NPO問題で 町長が答弁

12月定例議会は12月7日から21日までの15日間の会期で開きました。町長提出の23議案と議員発議2議案を原案どおり可決しました。

平成27年3月定例会で問題化した、国民健康保険への一般会計からの繰り入れ。それによって立ち上げた健康・医療・介護と財政に関する調査特別委員会は、調査報告書を議長に提出し目的を終えました。(関連11ページ)

一般質問は13人が町長、教育委員長、代表監査委員に行政事務についてたどしました。その中でNPO法人との委託契約については、「当事者からの聞き取りでは新聞記事と異なる、監査委員の調査を待って対応を考えたい」と町長は答弁しました。(関連20,21,26,27ページ)



鳥獣被害を食い止める

イノシシの捕獲数が予定以上になった

175万円



ブロッコリー生産を救済

9月の台風や長雨によって甚大な被害を受けた農家の支援

2416万円



待望の水がくる

畑かん事業の進ちょくを図る

5000万円



ますます増えるふるさと応援基金

寄付者の増加によってお礼の品や基金積立金などを増額する

7097万円

条例改正

新たな 農業委員会制度 が始まります!

農業委員会が、その主たる使命である、「農地利用の最適化」をより良く果たせるようにするために

農地の集約をさらに進める

農業委員・農地利用最適化推進委員の定数(各15人)を決めた